

「令和4(2022)年度とちぎっ子学習状況調査」結果速報

令和4年7月
下野市教育委員会

調査について

1 調査の概要（「とちぎっ子学習状況調査」実施要項より一部抜粋）

(1) 調査の目的

本調査の実施により本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査実施日

令和4(2022)年4月19日(火)

(3) 調査対象

小学校調査：小・義務教育学校第4・5学年

中学校調査：中学校第2学年、義務教育学校第8学年

(4) 調査事項及び手法

① 教科に関する調査

- ・小学校調査：国語、算数、理科
- ・中学校調査：国語、社会、数学、理科、英語

② 児童生徒質問紙調査

- ・内 容：学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等
- ・方 法：選択回答式
- ・質問数：小学校94問、中学校113問

③ 学校に対する調査

学校における指導に関する取組や学習環境等

(5) その他

本調査の結果は、学力の特定の一部であること、学校における活動の一側面であることに留意し、児童生徒の全般的な学習状況への指導・改善等につなげるよう留意する。

2 本市の参加状況 ※参加人数は最も多かった教科のもの

調査対象内訳	参加校数	参加人数
小・義務教育学校第4学年	9校	481人
小・義務教育学校第5学年	9校	499人
中学校第2学年・義務教育学校第8学年	4校	517人

本市の結果について

※小学校には義務教育学校前期過程、中学校には義務教育学校後期課程を含みます

1 概要

(1) 教科に関する調査の結果

【「令和4(2022)年度とちぎっ子学習状況調査」平均正答率の下野市と栃木県の比較】

- ◎ 大きく上回っている (5ポイント以上) ○ 上回っている (1ポイント以上 5ポイント未満)
 – 同程度 (±1ポイント未満)
 ▽ 下回っている (1ポイント以上 5ポイント未満) ▼ 大きく下回っている (5ポイント以上)

《小学校》

第4学年			第5学年		
	内 容	県との比較		内 容	県との比較
国語	全 体	○	国語	全 体	○
	基 礎	○		基 礎	○
	活 用	○		活 用	◎
算数	全 体	○	算数	全 体	○
	基 礎	○		基 礎	○
	活 用	◎		活 用	○
理科	全 体	○	理科	全 体	○
	基 礎	○		基 礎	○
	活 用	◎		活 用	○

《中学校》

第2学年					
	内 容	県との比較		内 容	県との比較
国語	全 体	○	社会	全 体	○
	基 礎	○		基 礎	○
	活 用	○		活 用	○
数学	全 体	○	理科	全 体	○
	基 礎	○		基 礎	○
	活 用	◎		活 用	○
英語	全 体	◎			
	基 礎	◎			
	活 用	◎			

児童生徒質問紙調査の結果について

質問別肯定率が算出できる項目や、読書、学習時間等における項目での「全くない」以外の回答率より県平均との比較を行った(小学校:88項目、中学校:107項目)。

小学校第4学年では49項目、第5学年では56項目が同程度または上回る結果となった。中学校第2学年においては、85項目が同程度または上回る結果となった。